



日本語教師の体験を出版

日本語教師
英語指導者

藤森和枝 さん



51歳で日本語教師になり、81歳まで教壇に立ち、その間、トルコ、タイ、モンゴルにボランティアで赴任した時期もある。そんな体験をまとめた『第二の人生』を出版した。85歳の現在は自宅で英語教室を開き、充実した第二の

◇

額チップも期待できる。それから注意して歩

に訪問した国は54カ国にト通話で話すことも多
くようになる。ホテル所属したJ・S・V(日本
でも土産店でも、片言のシルバーボランティア)人生が長い。多くの方に
日本語で熱心にコミュニケーションを通して最初の赴任先・何かを始めることにお勧めしたいです。そんな思
ケーションを取ろうとする人が目についた。
来て学ぶのは到底無理。だが、「これまで学んだ
「貧しい彼らが日本に子どもおり、悩みに悩んだらうれしいですね」
帰国後、日本語教師養成講座に通って指導の技術を学び、3年間かけて資格を取った。
海外には、子どもの頃から興味があった。大学では英米文学科を卒業
し、中学校教諭を経て、化学会社に転職。もともとと旅行が好きなので出張が多く、これまで

帰国後、日本語教師養成講座に通って指導の技術を学び、3年間かけて資格を取った。
海外には、子どもの頃から興味があった。大学では英米文学科を卒業し、中学校教諭を経て、化学会社に転職。もともとと旅行が好きなので出張が多く、これまで

※同書は四六判、

196頁、パレドブック、1320円。ネット書店「アマゾン」で販売中。